

SSKP
はばただより
vol.107

編集 社会福祉法人おおぞら会 アクティビティセンターはばたけ
編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9
Tel 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274
URL <http://habatake.jp/>

ご来場ありがとうございました!



《はばたけ大バザール》 場所:三鷹市立第二中学校

今年で27回目となりました「はばたけ大バザール」。地域での認知も、長い活動の積み重ねがあったからなのだと思います。新たな試みとして、地元のお店に模擬店参加していただいたのも、“地域”を意識してのことです。はばたけ(法人)の活動を広く知ってもらうこと、また「はばたけが地域にできることは？」という視点をこれからも大切にしていきます。



模擬店も大盛況!

たくさんの力に支えられて…

2009.9.27
三鷹市立第2中学校
(にしみたか学園)体育館

第27回はばたけ大バザール開催！

主催：
社会福祉法人おおぞら会後援会



開場前…長い列が続きます

から続けてきたイベントが、この「はばたけ大バザール」なのです。

毎年7月になると“バザー品の提供をお願いします！”と地域への呼びかけが始まります。「少しでも力になれば」「がんばってくださいね」「暑い中ありがとうございます」と回収に伺うと温かい声をたくさんいただきます。毎年150件以上のお宅から物品をいただきますので、毎日の回収に出かけ大変ですが、後援会員の皆様や地域の方との交流の機会でもある訪問回収は、何よりの励みにもなるのです。

また、当日はボランティアの方々にもたくさん参加いただきました。はばたけに実習に来た学生さんが卒業をした後も仕事の合間を縫って何年も継続して参加して下さるなどずっと応援し駆けつけてくれる方がたくさんおり、つながりの大切さを実感します。



模擬店スーパーボールすくい…いくつすくえるかな？



もう少しまけて！…かけひき上手にはかなわない！？

さらに、地域の企業や団体の皆様にもたくさんご協力をいただいているのも、この行事の特徴です。

毎年好評の「紀ノ国屋フードセンター」さんのイギリスパン、「AntenDo」さんの菓子パン…その他にも、ご近所の「東京コカ・コーラボトリング株式会社」「J A 東京むさし西野支店」「清水農園」さんからもご提供いただき、「ホームベーカリーぱぱん」さんは模擬店での委託販売でご協力いただきました。

物品提供や協賛金など形は様々ですが、毎年快いお返事をいただけるのは、地域福祉への関心とご理解があってこそであり、今年も新たに賛同いただけた企業やご協力いただくことができた団体もあり、心強くうれしく思います。

このようにたくさんの力に支えられ開催できた『はばたけ大バザール』。ご協力いただいたすべての皆様にも、おおぞら会からもあらためて心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

*バザーの収益金、会計の詳細は後援会(6ページ)をご覧ください。

★第27回 はばたけ大バザール★

参加団体紹介

今回のバザーでは「地域密着！」をテーマに、普段からお付き合いのあるご近所の団体・お店に参加いただきました。食品・模擬店は好評で、売り切れ続出でした！みなさんどうもありがとうございます！



三鷹ひまわり共同作業所
市内で精神障がいの方の
働く場を運営しています



ありのみ 三鷹駅南口徒歩3分
『味の散歩道』で、日本料理とおいしいお酒のお店をやっています！

ほのほのネット (三鷹杜協)
地域での暮らしを
サポートする
ボランティアグループです



ホームベーカリー はばたん
第二中学校近くの
パン屋さんです
はばたけの給食でも
お世話になっています！



三鷹陽だまり企画
精神障がいの方のグループ
ホームを運営しています

はばたけのいちおし！コーナー

今月はこの商品☆

てすきカレンダー (卓上タイプ)

素朴な木の板が台になっていて、
カレンダー部分が毎年さし替えられます

☆たて型：

はばたけの利用者が描いたイラストが
毎月楽しめます。

☆よこ型：

予定を書き込める実用的な一品です。



手すき和紙のやわらかい風合いをお部屋にどうぞ...

「C-café」「星と風のcafé」などでもお買い求めいただけます！

シャキッとやる気!...クッキー班にあたらしい風

「クッキー班で仕事をしたい…」
施設内実習…クッキー班 続編

『クッキー班で仕事をしたい!』という希望から施設内実習を行なった利用者のお話は、前回の「はばただより」でもお伝えしましたが、今回実習を行なった中から 1 人、この 9 月より正式にクッキー班への異動が決まりました。

実習をした利用者みなさんのがんばりと、「狭い作業室ではあるけれど注文をこなしていくには増員をしたい」というクッキー班の事情も重なり、実習を行なった中からモトキさんが採用されました。

実習中には、時間もきっちり守り、仕事の集中力もていねいさもクッキー班のメンバーが感心するほどだったモトキさん。大変だった実習のあとも疲れて音をあげるかと思いきや、「それでもクッキーをやりたい」という強い気持ちは変わらなかったのです。

実際にクッキーの仕事を始めて 1 カ月。朝は一番乗りでタオルの準備を始めます。立ち仕事のおかげか、エプロンもかっこよく着こなせるくらいにおなか周りがスッキリしたモトキさん。以前は、作業中にも他のことが気になって集中できないこともあり、ロビーで座っている時間もあったのですが、今は“自分のやるべきこと”がはっきり見えていて、仕事とそうでない時間の気持ちの切り替えが自然とできるようになりました。



小さな作業室は活気にあふれています



お互いの助け合いも自然に生まれます

「集中できない」ということが＝「その人の集中力がない」ということなのか、「集中できる環境・気持ちを支援しきれていない」ということなのか…この視点の違いが、その後の支援の方向性を左右していくのだと思います。今回のモトキさんも、憧れや挑戦したい気持ち、そこに着目しそれを支援したことで、結果としてよい方向につながっていったのではないかと感じます。そばで見守ってきた職員がその変化に一番驚いており、モトキさんの新たな一面が見えるごとに、『“やりがいをもつこと”や“自信をもつこと”を支える実践』の意味を実感しました。

やきの仕事をやっています。
こんどはパウンドケーキをつくらしてみたいです。

《クッキー班の職員より》

9 月より、クッキー班のメンバーの一員になったモトキさん。日々の仕事に対する姿勢はとても真摯であり、その姿が他のメンバーにも良い影響を与えています。入って早々、大口の注文に応えるために残業の日々が続きました。慣れない仕事で疲れていても、決して弱音を吐かないモトキさんは、とても頼もしい存在であり、クッキー班の大きな力となっています。



力を集結！800セットへの道

たくさんの注文に挑んだ
てすき班の夏・・・

「てすきの一筆箋 800 セットできますか？」…そんな依頼が舞い込んだ春先。ご近所のルーテル学院大学が 100 周年を迎え、9 月に行なう記念式典の記念品のひとつとしてオリジナル一筆箋を作りたいというお話でした。

「800 セット!?!」…今まで一度に 100 セットくらいの注文に応えたことはあっても、その 8 倍と想像を超えた数字に一瞬の不安がよぎりましたが、「みんなならできる!」という職員の確信の一声で、無謀にもこの注文をうけたのでした。

もちろん、交流のあるルーテル学院大学のお祝いということもあり、なんとか応えたいという気持ちもあり、班のメンバーも「よしやろう!」と気合十分でのスタート。実際にデザインをいただいたのは 7 月。さあいよいよ 800 セット開始です。



校章と外観風景の 2 パターンのデザインです!



まず必要なのは一筆箋の“紙”です。一筆箋担当のセトさんが毎日 250 枚作っておりストックもあったのですが、10 枚 1 組で 8000 枚必要となれば、すぐに底をつき 8 月からは毎日 1 時間の残業がスタート。セトさんも何とか間に合わせたいと、自分で予定を立てて、1 ヶ月間毎日コツコツとてすきに励みました。「〇〇枚作りしました。いくらになりますか?」と職員に聞きながら、自分のやったことが何につながっていくのか確認し、それを励みにしていたセトさん。まわりのメンバーもセトさんのペースに追いつくように、原料作りや印刷、袋詰めなど自分の役割を精一杯こなしていきました。

この時期は、てすき班の主力商品のひとつ「てすきカレンダー」の製作時期とも重なり、この調子だとカレンダーの販売開始時期をずらさないといけなかも…とだんだん職員の顔も必死になってきました。

が、同時進行でカレンダー作りを担うメンバーも「カレンダーもやらないやね」と役割を分担しながら、それぞれにこなしている姿がそこにありました。「一筆箋の進み具合はどう?」とメンバーに尋ねると、「たいへんだよ。でもがんばってるよ。300 できたよ」などはっきりとした口調で答えが返ってくるのです。これは自分のやっている仕事に実感をもっているからこそであり、できあがっていく過程がそのままメンバーの自信となって積み重なっていきました。

そしてメンバーひとりひとりが忙しさを受け入れ、お互い協力して補い合い、13 人のメンバーと職員 2 人の力を結集し、9 月の中旬には 800 セット完成! 納品が終わったときは、思わず拍手でお互いをねぎらいました。そして…その勢いのまま、危うかったカレンダーも前年より早く完成し販売にこぎつけたのでした。

まだまだ底知れぬパワーを実感した今回の 800 セット。なにより「てすき製品を使いたい」と注文してもらえた喜びとやりがい、メンバーの原動力となったことはいまでもありません。

マイペースが売り?のてすき班ですが、自分たちの仕事が認められ求められること、そして喜んでもらえることで、いつもと一味違う、活気あふれる作業室になり、「みんなのこんな表情ももっと見たい。たくさんてすきを知ってもらいたい」と思えるよい機会となりました。

new face

遅ればせながら!!

新入職員紹介です



てすき班の諸澤ちひろです。

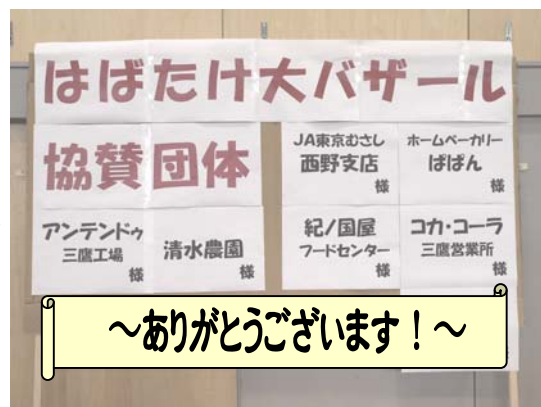
4 月に入社してあっという間に半年が経ちました。毎日笑いが絶えず、楽しく過ごしています!

今年度は、はばたけのみなさんのことを知ること、みなさんに私を知ってもらうことを心がけています。よろしくお願いします!

★おおぞら会後援会ニュース★

第27回 はばたけ大バザールのご報告

街路樹の葉が黄色くなり、庭の柿も色づき、空気の澄んだ爽やかな秋空の季節になってまいりました。みなさまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、今年のはばたけ大バザールもお天気に恵まれ、みなさまのおかげで盛況のうちに終わることができました。品物を提供して下さった方々、ボランティアとしてお手伝いいただいた方々、またご協力いただいた企業・団体の方々に、当日お越しいただいた方々に、心より御礼申し上げます。



ほのぼのネット 販売コーナーにて

現在のおおぞら会は、障がいのある方を支援する事業を展開しています。翻って昨今の福祉をめぐる情勢を鑑みると、今後は高齢者・児童など、より広い分野での活動が必要になるのではないかという気がしてきます。

現在の事業・活動を中心としながらも、「社会福祉法人として求められる役割をどう果たしていくのか?」というのは、大きな課題となってきます。より多くの方の支援をしたいと願う法人にとって、みなさまの応援は何よりの力です。後援会員の方々に、改めてご協力をよろしくお願いいたします。

おおぞら会後援会会長 吉野 壽夫

第27回 はばたけ大バザール収支報告

収入(売上ほか)			支出(経費ほか)	
寄付金	清水農園様 竹内様 かしもと様 長谷川様 広田連様 後藤幸雄様	6件計	ばぱん仕入 売店チケット精算 賃借料・材料費他	23,000 41,450 32,245
バザー品	当日売上 その他(追加等)	722,424 50,883		
	計	773,307		
収入合計		853,127	支出合計	96,695
		収支差額	756,432	



※従前、バザーについては別紙で報告書を作成しておりましたが、今回からはばたけだより紙面上でご報告させていただく事としました。何卒ご了承下さい。

★後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)★

個人16名の方から、ご入会・ご更新をいただきました。ありがとうございました。

★後援会へのご寄付(敬称略)★

個人2名の方から、後援会へのご寄付をいただきました。ありがとうございました。

★法人・施設へのご寄付(敬称略)★

個人8名の方から、後援会へのご寄付をいただきました。ありがとうございました。

(以上 7/15～9/30分) 皆様 ありがとうございます。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

活動日誌 8 月 1 日(土)～10 月 31 日(土)まで

8 月 5(水)	ハビネスセンター作業療法相談	10 月 2(金)	健康個別相談、給食試食会
6(木)	ており交流会(二小学童)		利用者向け健康セミナー(笠原栄養士)
10(月)	理事会、家族懇談会	4(日)	三鷹社協バザー
11(火)	大掃除	7(水)	嘱託医検診
12(水)	夏期休暇(～14 日)	12(月)	みたかスポーツフェスティバル
21(金)	自治会	14(水)	那須コース旅行①
26(水)	京都・大阪コース旅行	16(金)	就労支援を考えるつどい(かけはし)
		18(日)	吉祥寺教会バザー(販売)
職員会議	7(金) 21(金)	22(木)	ハビネスセンター歯科検診
		23(金)	自治会
9 月 1(火)	地域防災訓練(三鷹二中)	24(土)	理事会・評議員会
15(火)	健康個別相談	28(水)	那須コース旅行②
24(水)	ハビネスセンター歯科検診		
25(金)	自治会	職員会議	8(木) 23(金)
27(日)	第 27 回はばたけ大バザール		
職員会議	11(金) 25(金)		



◎来訪された方々(月日現在)

TKC・櫻井様 ミュージックボランティア協会・櫻井様 健康センター・笠原様 ハビネスセンター様
 とも企画設計様 つばさ訪問看護ステーション様 小川クリニック・小川様 SECエレベータ様
 (株)東京ライフサービス様 鴨下様 ルーテル学院大学様 NPO法人アンリミテッド様
 はあと・ふる・えりあ様 ティアーズコンピュータ・堀様 はちのこ学童様 伊藤様 西田様

◎実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

府中朝日特別支援学校・佐藤様、橋本様 日本大学・古庄様、池田様 ルーテル学院大学・森田様

◎ボランティアの方々(いつもありがとうございます)

佐々治様 都立神代高校・吉野様 たての様

～施設長のひとりごと～

障害者自立支援法が廃案になる。2003 年に支援費制度がスタートして 2 年も経たないうちに自立支援法が決まり、今度は 3 年足らずでその廃案が確定となった。▼「観測データが理論よりも優先する」。“事件は現場で起きているんだ”という映画の台詞ではないけれど、あまりに福祉現場の実態に合わない制度設計の結果と言わざるを得ない。その最大の原因は、結論(支出削減)が先にあって、その結論につじつまを合わせる理屈をなんとかつくったところにあるのだろう。▼自然科学の研究者もその傾向があるようで、自分の仮説と異なるデータが得られた場合、まずは観測(もしくは実験)の方法が正しくなかったのだと考える。それゆえ、自分の思いと合致するデータを追い求めて観測を繰り返す。固執した思考は幻想となり一人歩きを始める。▼複雑な要素が混在する自然界にあって、観察が正しいか否かの評価は難しい。人間の営みにあっては尚更である。だからこそ、福祉に携わる私たちは「固執した思考」に囚われずに、正しい観察を積み重ねていかなければならない。その点で、この間の混乱は、現場の実態を正しく伝え切れなかった私たちの力不足にもその原因の一端があったのだと思う。▼地道で丁寧な見極めを積み重ねることで、実態的で有効な制度につなげていかなければならない。私たちは、「地域」を意識して「お互いさまでつくる笑顔の暮らし」をキーワードに実践を積み重ねようと考えている。

(みうら あきお)



Christmas Box



はばたけの手仕事あつめました



はばたけ クリスマス ギフトBOX 2000円

(タテ 14cm × ヨコ 25cm × たかさ 8.5cm)

箱のなか

ておりデジカメポーチ・てすきレターセット・X'mas スノークッキー
神田珈琲園さんのコーヒー豆(粉)とクリスマスブレンドティー(紅茶)



ご予約は・・・11月20日まで！ お届けは12月初旬～となります

→ご注文は「はばたけ」へ TEL:0422・32・3234 / FAX:0422-32-3274

社会福祉法人 おおぞら会

- アクティビティセンターはばたけ (知的障害者通所授産施設)

〒181-0014 三鷹市野崎3-17-9 TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274

- サポートネットあすは (移動支援《居宅介護》事業)(日中一時支援事業)

〒180-0014 武蔵野市関前2-5-14 TEL・FAX 0422-36-5151

- ショートステイさくら (短期入所事業)

〒180-0014 武蔵野市関前2-5-14 TEL 0422-54-4631

- つなぐなかまの家・さくらハイツ (グループホーム・ケアホーム事業)



<http://habatake.jp>

【編集後記】夏に公園の近くに引っ越しをした。公園が自分の庭になったようで何とも贅沢だ。せっかくだから贅沢を満喫しようと、散歩をするようになった。個人的に大きな転機の時期でもあり、散歩しながら気持ちの整理やリセットをすることも多く、空を見上げて大きく深呼吸すると、眉間のしわが伸びることも発見した(苦笑)。みなさんは自分なりのリセット方法を持っているだろうか?溜め込まずに自分を表現したり開放することって難しい...という私のような人は、はばたけの利用者にも多い。一緒に散歩しながら速度や呼吸を感じ、ぼそっと心の声を聞く...そんなことが実は一番大事な支援の一歩だったりするんだよと歩きながらあらためて感じた。(いりくら)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

企画・編集 アクティビティセンターはばたけ 編集責任者 三浦明雄 編集委員長 入倉暁子 編集委員 卜部禎生 中野昭精 [頒価 50円]